

日本工営株式会社
2021年11月16日

日本工営、ベルギーで 25MW/100MWh 系統用蓄電事業の建設開始 電力系統安定化サービスへ参入

日本工営株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:新屋浩明、以下、日本工営)は、完全子会社の Nippon Koei Energy Europe B.V.(本社:オランダ ロッテルダム CEO:鈴木雅登、以下、NKEE)を通じて、ベルギー Ruien において 25MW/100MWh の系統用大型蓄電事業の建設を開始します。

本プロジェクトは、2018年にベルギーに設立した事業目的会社 Ruien Energy Storage N.V.(以下、RES)にて実施し、NKEE は開発、計画、EPC(設計・調達・建設)、運営までを事業主体としてワンストップで推進します。

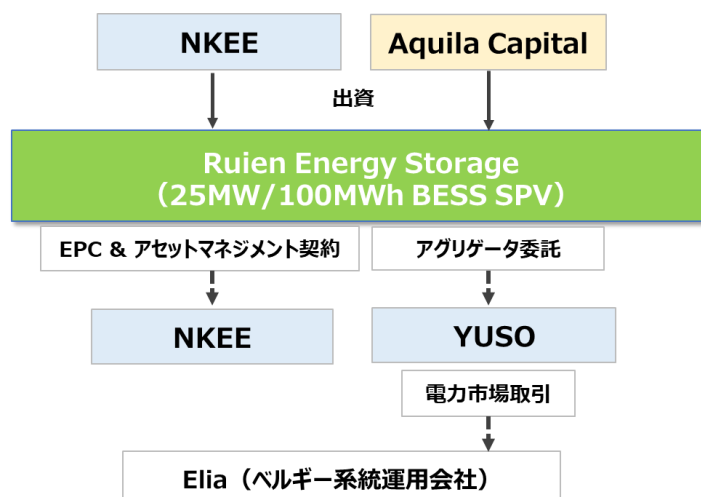
本プロジェクトの共同事業者として、再生可能エネルギーを中心とした資産を投資対象としたインベストメント・マネジメント会社 Aquila Capital Holding GmbH(本社:ドイツ ハンブルグ CEO:Roman E. Rosslenbroich)が参画します。NKEE と本プロジェクトを共同開発してきた YUSO B.V.(本社:ベルギー ワレヘム MD: Bart Pycke)が RES とアグリゲータ契約を行い、電力市場での取引を代行します。日系企業が事業主体として開発、建設から欧州の系統用蓄電事業に参入するのは初となります※1。システムは旧石炭火力発電所跡地に設置し、隣接する電力系統変電所に接続します。2021年11月に建設に着手し、2022年末の完成を目指します。※1 日本工営調べ

ベルギーは、脱炭素推進のための再生可能エネルギーの増加や、電力系統が周辺国と連系しているため、各国の制限を受けやすいことなどから、電力系統安定化のニーズが高まっており、系統運用会社の規制緩和を受けて系統用大型蓄電池の導入の機運が高まっています。

本プロジェクトは、ベルギー電力系統に接続する最大級の蓄電池で、4時間システムという長時間容量の特性を活かしながら系統の安定化を図るサービス(周波数調整などのアンシラリーサービス)を中心に多様な市場にアクセスして運用し、収益性を高めるとともに、カーボンニュートラル達成へ貢献します。

日本工営は本プロジェクトを通じて、再生可能エネルギー普及が先進する地域での系統用蓄電池を用いたワンストップサービスでのエネルギー・マネジメントのノウハウを蓄積、向上させ国内発電・送配電事業へ展開することを目指してまいります。また、アンシラリーサービスを含む多様な蓄電池ソリューションの提案力を高め、国内外における新規事業領域の開拓と拡大を加速し、SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」の達成に貢献してまいります。

事業スキーム図



—本件に関するお問い合わせ先—

日本工営株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email c-com@n-koei.co.jp ホームページ: <http://www.n-koei.co.jp/>

▽日本工営について

国内最大の建設コンサルタント会社として、安全・安心な生活、豊かな日常を支える社会資本づくりに関わるコンサルタント事業や電力エンジニアリング事業を通じて、世界各地で国づくりの一躍を担う。

<https://www.n-koei.co.jp/>

▽Nippon Koei Energy Europe B.V.について

2018年設立。本拠地はオランダ ロッテルダム。欧州域におけるエネルギー事業の形成、事業開発、建設、運営、および欧州内グループ企業のマネジメントを行う。

▽Aquila Capital Holding GmbH について

2001年設立。本拠地は独ハンブルグ。再生可能エネルギーに注力した欧州の独立系投資・運用アドバイザー。風力、太陽光、水力発電等の再生可能エネルギー分野で約130億ユーロを運用。再生可能エネルギーに加え、ソーシャルハウジング、グリーンロジスティクス、インフラ、林業・農業を運用対象とし、企業家精神をもった専任の投資チームがスクリーニングから開発、資金調達、運用まで横断的に網羅している。

<https://www.aquila-capital.de/en/>

▽YUSO について

2012年創業。ベルギー、オランダ、フランスを中心に、1000社以上の再生可能エネルギー事業者（主に太陽光発電）を対象とするエネルギープラットフォームを開発・運営。

<https://yuso.be/>